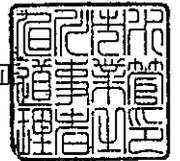


旭水総第296号

令和3年2月8日

旭川市上下水道事業審議会
会長 杉村 樹可 様

旭川市水道事業管理者 木口 信正



水道料金及び下水道使用料の見直しについて（諮問）

本市の水道・下水道事業は、人口減少などにより料金・使用料の収益が減少傾向にある中、老朽化した配水管をはじめ、上下水道施設の計画的な更新が課題となっています。

令和2年3月に策定した「水道事業・下水道事業 中期財政計画（令和2～5年度）」においては、水道事業の運営に必要な年度末資金が令和4年度に不足し、不足額が年々増加すると見込んでいます。

また、水道は平成4年度、下水道は平成13年度以降、消費税率引き上げ分以外は料金を見直していないことから、現在の社会状況や利用実態を踏まえた上で必要な料金水準を見極め、現状に見合った料金体系に見直す必要があると考えています。

つきましては、将来にわたり事業を継続するため、水道料金・下水道使用料の見直しについて、貴審議会の意見を求めます。